

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
障害者福祉		必修 (社.精) 選択 (理.作.心)	2	2.3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
渡邊 典子	B312	noriko.watanabe		水曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p><目的> 身体障害、知的障害、精神障害という分野に限らず、現代では、発達障害、高次脳機能障害、強度行動障害、また医療的ケアを必要としている児・者など、障害分野の多様化、複雑化する障害者の生活実態について学習すると共に障害者福祉制度についての理解を深めることを目的とする。</p> <p><概要> 本講義では、登校型授業にて実施し、自己の中にある”障害観”と向き合えよう、障害児・者の生活実態や取り巻く環境、法律と制度、障害特性について講義をする。</p>				
学習上の助言	障害とは何かを自身に問いかけ、見えていない障害者観、自分の中にある差別、偏見と向き合いながら、必要な制度や法律をしっかりと学んでほしい。				
教科書	最新・社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座/一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集/中央法規				
参考書	指定参考書なし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	障害者の取り巻く社会情勢と生活実態について理解し、説明ができる。			HSU(1)~(3)、WP(1)~(3)	
②	障害者（児）にかかわる法体系について理解し、説明ができる。			HSU(1)~(3)、WP(1)~(3)	
③	障害者総合支援法の概要について理解し、説明ができる。			HSU(1)~(3)、WP(1)~(3)	
④	専門職の役割と職種連携について理解し、説明ができる。			HSU(4)、(5)、WP(2)、(6)	
⑤	国家試験の問題を確実に解答することができる。			HSU(2)、WP(3)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	オリエンテーション（講義概要・講義の進め方・評価方法等） 障害者福祉を学ぶことの意義について学習する。	登校型授業 講義	自身が思う障害者観について まとめておく。		4
2	【第1章 障害者概念と特性】 障害者の定義と特性を理解し支援内容を学び、ICFと障害者の医学モデルと社会モデルについて学習する。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。		4
3	【第2章 障害者福祉の概念】障害者観の変遷や障害者の概念を理解し多様性と共生を学習する。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。		4
4	【第3章 障害者福祉の歴史】 障害者処遇の変遷と、障害福祉制度と発展過程を学習する。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。		4
5	障害者福祉制度と当事者運動、障害者の権利条約と障害者基本法を学習する。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。		4
6	【第4章 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題】 障害者の生活実態と地域生活を考える。障害者とその家族について理解し、障害者を取り巻く社会環境と課題を学習する。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。 障害のある家族について考えをまとめておく。		4
7					
8	【第5章 障害者に対する法制度】 法制度全体を理解し、障害に関する法について学習する。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。		4
9	児童福祉法、発達障害者福祉法、障害者支援法について学習する。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。		4
10	障害者虐待防止法、障害者差別解消法、バリアフリー法、障害者雇用促進法、障害者優先調達推進法等を学習する。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。		4
11	【第6章 障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割】関係機関の役割、関連する専門職の役割を学習する。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。		4
12	【第7章 相談援助における個人情報保護】 相談援助の知識として個人情報の考え方と制度を学習する。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。		4
13	【第8章 障害者と家族等に対する支援の実際】 障害領域におけるソーシャルワーカーの役割を学ぶ。困難支援の事例から連携のあり方や地域で支えるチーム造りを学習する。	登校型授業 講義	事前にテキストを読んでおく。		4
14	障害者と家族等に対する支援の実際（多職種連携）を事例から学習する。	登校型授業 講義	テキストの事例を読んできると。		4
15	講義全体のまとめと試験対策及び意見交換を実施する。	登校型授業 講義	わからない部分を明確する。資料をすべてまとめておく。		4

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

試		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		90	10	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	10	5	0	0	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	2	0	0	0	2
	問題を発見・解決する力	0	3	0	0	0	3
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義で学んだ知識を確認する。 試験では、講義中に説明した内容やテキスト及び配布資料から出題する。				試験結果を掲示する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①	✓	自己の障害者観についてレポートを提出する。				第 13 回授業の終わりに提出する。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>・登校型授業で実施するが、今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって Teams を使った同時双方向型授業の変更が行われることもあり得る。</p> <p>・大学が公表している感染症対策及び教員が示す授業方法を遵守すること。守れない場合は授業の参加を認めない場合がある。</p> <p>・同時双方向型授業では講義中にフィードバックを行い、分からない部分は個別に質問に返答する場合もあり得る。</p> <p>・社会福祉士・精神保健福祉士取得希望者は必ず履修すること。</p> <p>教員の実務経験： 社会福祉士を平成 11 年、介護福祉士を 12 年、精神保健福祉士を平成 18 年に取得し、20 年以上、地域を基盤としたソーシャルワーク実践を行う。</p> <p>実践的授業の内容： 教員が実際に現場で担当している事例等を用いながら（個人を特定できないよう加工修正）、教科書の理論について現場の実践内容を踏まえて説明し、実践と理論の双方からソーシャルワークを理解できるように工夫する。</p>							